

メタバースで楽しめるVR居酒屋

スーパークリエイター科ホワイトハッカー専攻2年

糸数隆我

概要

近年注目されているメタバース。
その技術を生かし、仮想空間での居酒屋を再現させます。

飲食（居酒屋）



×

メタバース（VR）



目的

- ・ オンラインでもリアルな飲み会をしたい！！
- ・ 現地でのつながりだけではなく、
ネットでつながった人でも楽しめるように！

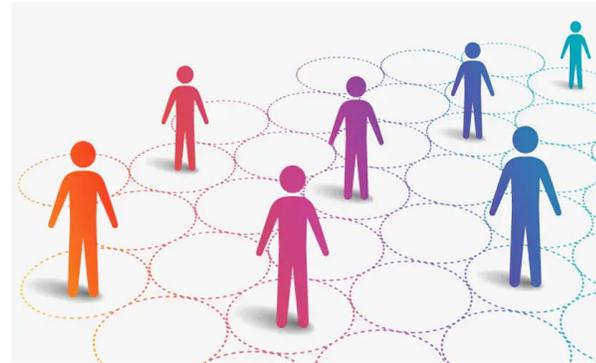


どんな価値があるのか

- お互い、離れた場所でも近くにいるようなリアルな飲み会体験ができる
- 集団感染や人同士が密集になることがない
- 新たなITビジネス展開として活動できる

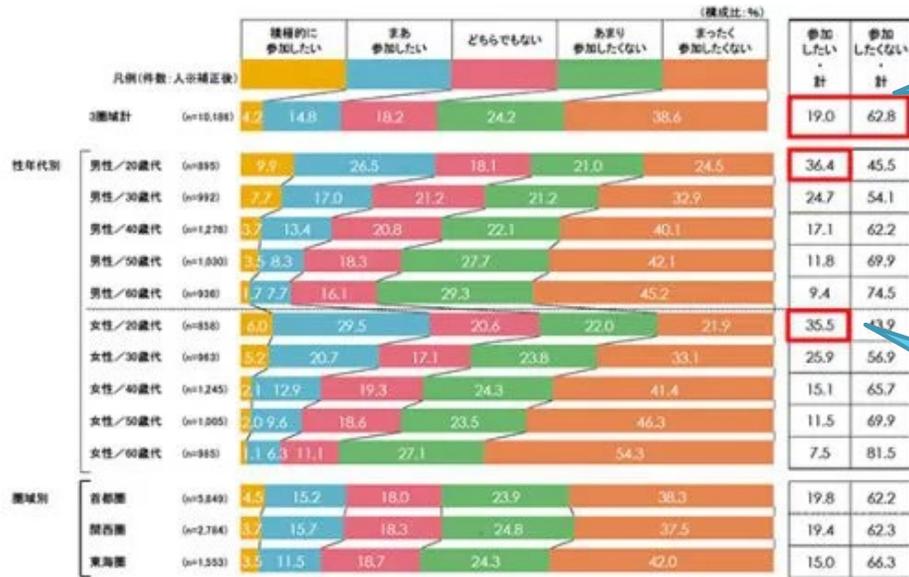


pixta.jp - 14296130



オンライン飲み会の現状

Q. 今後、これからも外出の制限がなくなっても
オンライン飲み会・食事会に参加したい？



参加したくないが
62.8%
と高確率である

若年層はオンライン
飲み会の定着率が高
い

**定着率の高い若年層を重点的ににおいて尚且つ
新たなオンライン飲み会の形態が必要!**

20～30歳の若年層の方々

理由として資料から若年層の定着率が高いことから
新たな分野に対する抵抗が少ないため集客が容易だと考えました。

離れても飲み会に参加できるために

- 各県に店舗を配置し、
部屋を漫画喫茶の個室形態にします



- VRデバイスの貸し出しを行います



ヴァーチャル居酒屋の入館・注文・料金

- ・ VRデバイスを装着後ヴァーチャル居酒屋に入館します

- ・ 飲食の注文はヴァーチャル上で注文し、
店舗にいるスタッフが個室に届けます

(注文者が届け先を選択できるようにし、
飲んでる仲間に届けることも可能)



- ・ 料金は部屋料金（貸しVRデバイス）+ 飲食代 基本後払い制

(割り勘の機能やほかの人払い（おごり機能）を搭載)

- ・ 会場の装飾やパーティゲームなどをオプションとしてつける

メリット

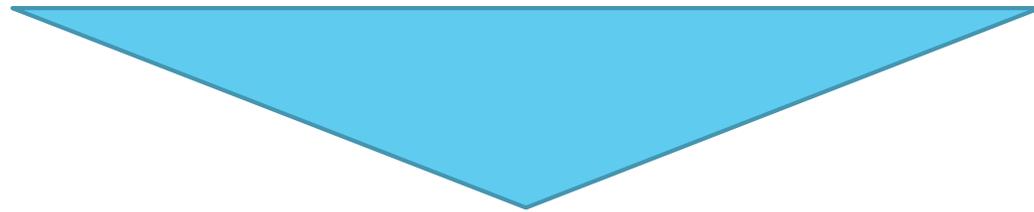
- あくまでオンライン上の飲み会なので直接的な迷惑をかけることがない
- わざわざ人が一点に集まる必要がない
- 居酒屋の店舗によっては少人数、大人数お断りや定員オーバーで入れないこともあるが、解消できる
- 敷居の圧を感じなくて済む
- 周りには人が一応いるので居酒屋特有のがやがやな雰囲気や臨場感を堪能することができる

今後の課題

- 資金面の調達（プラットフォーム作成費用 維持費 VRデバイスの機種代 各店舗）
- メタバースが新たな分野なので不確定要素が大きい
- ネットワークの安定、セキュリティ
- VR機器を装着したままの飲食
 - ・注文した品が来たらVR画面に表示
- お酒の提供をするので危険度はあがる

まとめ

- ・ オンラインでもリアルな飲み会をしたい！！
- ・ 現地でのつながりだけではなく、
ネットにつながった人でも楽しめるように！



メタバースで楽しめるVR居酒屋で実現可能である！！